学校番号	302

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「現代社会　改訂版」（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 現代社会で起こっているさまざまな問題を科学的に考察する視点を養成する。
- 我々に身近な出来事と現代社会の諸問題とがつながっていることに留意する。
- 歴史的・地理的な関係を組み合わせ、幅広い視点から諸問題を考察する。
- 1 コマ 45 分という制限があるため、政治分野を中心に授業を進める。

2　学習の到達目標

1. 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
2. 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
3. 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代の社会と人間　現代の政治と法(1)	第1章　私たちの生きる社会 第1章　個人の尊重と法の支配	○ ○	 ○	○ ○	 ○	a: 科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 現代の民主政治から課題を見いだし、個人と国家の役割について多面的・多角的に考察している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 資源・エネルギー問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言・文書を通じて、民主主義の原理の形成過程を理解している。	定期考査 授業板書ノート ワークプリント
後期	現代の政治と法(2)	第2章　現代の民主政治と政治参加の意義	○			○	a:現代の民主政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。 d: 国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業板書ノート ワークプリント

	② (2)	第3章　国際政治の動向と日本の果たすべき役割	○			○	a:国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 d:　人権、国家主権、国際法などを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業板書ノート ワークプリント
	① (1)	第2章　青年期と自己の形成	○	○		○	a:　青年の生き方に対する関心を高め、生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。 b:学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味について自らの人生とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、追究した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 d:　生涯における青年期の意義と自己形成、望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会、社会参加、などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業板書ノート ワークプリント